

第1回 真駒内駅前地区の景観に係る取組 「駅前の景観について考えるミーティング」 開催概要

1.開催日時等

第1回真駒内駅前地区の景観に係る取組「駅前の景観について考えるミーティング」（以下、景観ミーティング）は下記のとおり。

日 時	令和7年8月23日（土）13:30～15:30
場 所	南区民センター 2階 区民ホール
参加者数	47 人

2.当日の流れ

開会（5分）

- ・開会、あいさつ

情報提供（25分）

- ・真駒内駅前地区まちづくり計画について
- ・景観デザインガイドラインについて

意見交換（75分） ※グループワーク

- ・今の景観：大切にしたいと思う景観は？
- ・未来の景観：こんな景観になったらいいな！

まとめ（15分）

○当日の様子



3.意見交換

当日はグループごとに付箋紙を使用して、前半と後半で「今の景観：大切にしたいと思う景観は？」、「未来の景観：こんな景観になったらいいな！」の2つのテーマについて意見を出し合い、グループごとにまとめた。

○意見の要約

当日の各テーブルから出された意見の要約は下記のとおりです。

【今の景観】

〈豊かなみどり〉

- ・整備された銀杏並木、街路樹のみどり、花壇。
- ・豊かなみどりのボリューム感。
- ・エドウィンダンの豊かなみどりと用水路のうるおい。
- ・ゆったりしている、圧迫感がない、「静かさ」。
- ・虫の声や鳥の声、子供たちの声、五感で感じる景観がある。

〈空の広さ〉

- ・広い空、桜山への眺望（四季の変化）。

〈オリンピックや開拓の歴史〉

- ・オリンピックの時計台、団地、歴史を生かした景観。

【未来の景観】

〈建物・施設の設え〉

- ・木の風合いがある大きなボリューム感・圧迫感のない建物。
- ・自然に調和する高さ、落ち着いた色彩。
- ・統一された陳腐化しないデザイン、路面店。

〈にぎわい〉

- ・通年、時間にとらわれない賑わいがある。
- ・オープンカフェやマルシェ、ベンチ、多世代が集まる滞留空間など、賑わいがしみ出す。
- ・小路のにぎわいもあると良いのではないか。

〈みどり〉

- ・駅前通りの花壇などの賑わいづくり。

- ・エドウィンダン・用水路のみどり・うるおいをつなげる。

〈安全性〉

- ・安全できれい、冬季も歩きやすい駅前通り。(屋根が迫り出した設え、ロータリー、ロードヒーティングなど)
- ・路上駐車や渋滞解消のための取組。
- ・出入り口がいくつかあり、移動が容易。
- ・夜まで営業しているお店が入ると夜間の明るさも担保できるのではないかな。

〈その他（機能や取り組み）〉

- ・南区各方向への人の流れのつなぐ、南区の玄関口としての情報発信。
- ・地域の方が求める機能を集積させる。
- ・デートできるところ、保育園、自習室、コワーキング、メディカルビル。
- ・災害時の拠点とすることができる。
- ・コミュニティバスで高齢者の回遊性も担保。
- ・みんなで桜山に桜を植樹しよう。
- ・アートを散りばめた景観、写真を撮りたくなる景色。
- ・桜山を見通せる展望台があると良いな。

○各グループの意見

【Aグループ】

『今の景観：大切にしたいと思う景観は？』



〈真駒内駅周辺〉

- ・都心の喧騒から離れ、ホッとするような静けさがあることが真駒内らしきと思う。
- ・空の広さや開放感があることが大切である。
- ・桜山があることで、景観が印象づけられていると思うので、駅裏の緑は大切にしたい。
- ・駅を出た時、桜山や中学校のグラウンドがあることで土の香りが漂って良い。
- ・駅前なのにせみしぐれや鳥の鳴き声が響く環境がある。
- ・中学校やまこまるから子供の声がするのが良い。
- ・駅前の時計が市民にとってシンボルとなっている。
- ・道路の樹木やオリンピックのモニュメント、山から見える景色は残したい。

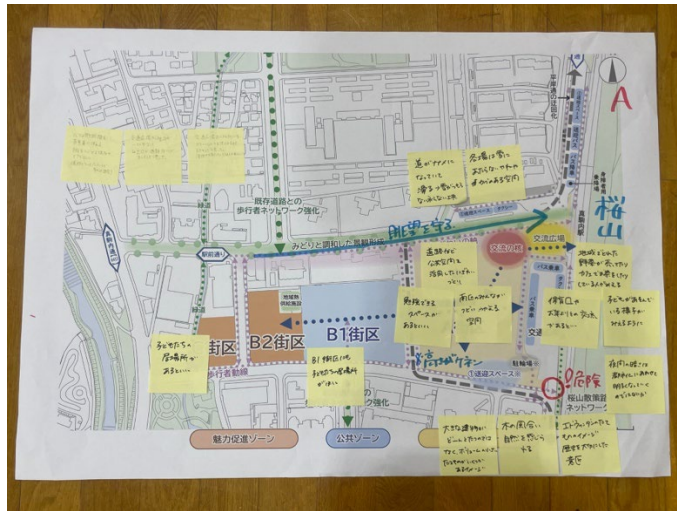
〈駅前通り・路地〉

- ・区民センターの中にある樹木や花壇の手入れを中学生や地域の方が行っており、素敵だと感じている。
- ・駅前通りの街路樹や広い歩道は、真駒内のみどり豊かな景観を印象づけている。
- ・街路樹は四季によって新緑やイチョウの並木となり、季節を楽しめる。
- ・駅前通りから駅舎・桜山を見た時に、紅葉や月が見えるなど、眺望がきれいである。

〈エドウィン・ダン記念公園から用水路周辺〉

- ・エドウィン・ダン記念公園周辺のみどりは、種苗場の時代からある本物のみどりであるように感じる。
- ・エドウィン・ダン記念公園から、用水路が流れているが、みどりと潤いが心地よく感じる。
- ・用水路にはカモが来るので、自然を守りたい。

『未来の景観：こんな景観になったらいいな！』



〈真駒内駅前周辺〉

- ・地域で採れた野菜が売っていたり、カフェでお茶をしたりしている人がいるような様子があるとよい。
- ・現在、まこまるや中学校があるように、子どもが遊んでいる様子が見える方がにぎわいが感じられて良い。
- ・子どもとお年寄りの交流がなされている様子があるとよい。
- ・夜間の暗さは気になっているが、再整備に伴い、テナントの営業時間が変われば、自然と明るくなるのではないかな。
- ・道路など公共空間が活用されており、人の賑わいがある景観があるとよい。

〈交通広場〉

- ・バス待ち部分はグリーンルーフになると、自然と調和した真駒内らしい景観になり、夏場はみどりがあることで涼しさも感じられる。また、エコになるのではないかな。

〈建物のデザイン・ボリューム〉

- ・A 街区に高い建物が建ってしまうことで、今の真駒内駅前の開放的なイメージが損なわれてしまうのではないかと心配である。
- ・エドウィン・ダン記念館の建物のイメージなど、歴史を大切にしたい建物のデザインになるとよい。
- ・壁面などは木の風合いになっていたり、自然と調和するようなデザインがよい。
- ・大きなビルが立つのではなく、ボリュームの小さい建物がいくつかあり、建物を歩いて巡りながら買い物や用事を済ませることができるとよい。

〈駅前通りの安全な歩行空間の確保〉

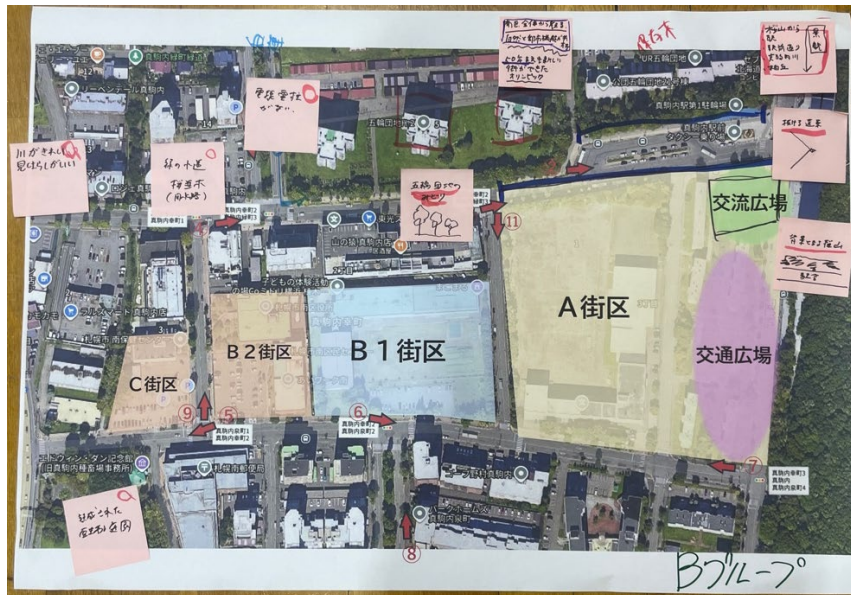
- ・駅前通りは道が斜めになっており、冬場は滑りやすいため、A 街区の建物の屋根が道路に迫り出すなど、雪が道に積もりにくくしたり、雪に当たらずに移動できるようになるとよい。
- ・冬場は雪にあたらない屋根や壁がある空間があるとよい。
- ・交通広場の南側を駅舎の方に乱横断する人が出てくると思うので、安全策が必要である。

〈駅前に必要な機能〉

- ・札幌市の土地に建てる建物であれば、真駒内住民や南区民が求める機能が入るべきである。
- ・まこまるや中学校がなくなってしまうのであれば、それに代わる子どもの遊び場機能は駅前にあった方がよい。
- ・真駒内地区の持続性を考えると、子育て世代が住みたいと思えるようなまちにする必要がある。そのためには、駅前に保育園などの子育て支援機能があるとよいのではないか。
- ・不登校の子ども居場所や子どもの学習場所があるとよい。

【B グループ】

『今の景観：大切にしたいと思う景観は？』



〈真駒内駅前周辺〉

- ・背景となる桜山がきれい。
- ・桜山から柏丘までの景観がきれい。
- ・自然と都市機能が共存している街。

〈五輪団地〉

- ・五輪団地の緑がきれい。
- ・電柱がない。
- ・緑の小道、桜並木がきれい。
- ・川がきれい、見晴らしがいい。

〈エドウィタン・ダン記念館〉

- ・熟成された庭園がある。

『未来の景観：こんな景観になったらいいな！』



〈真駒内駅前周辺〉

- ・桜山の活用。
- ・中継点としてのわかりやすさ、PR。
- ・安心・便利なアクセス(自動運転バス　ロードヒーティング　動く歩道)。
- ・人の動きが活発になるように景観を整えて人の動きも景観になるようにすると良い。
- ・カフェ・レストラン・花火・マルシェ・映画・宿泊を整備し、エリア外の人を呼び込む。
- ・保存木ミズナラ、カシワの保護。
- ・桜山～柏丘までを景観としての一体感を出す。
- ・桜山～柏丘までを結ぶ駅前通り。
- ・駅前通りに屋根をかける。

〈エドウィン・ダン記念館〉

- ・緑が豊か。

〈五輪団地〉

- ・緑道のサクラが好き。
- ・五輪開催エリアであることを活かした国際エリアがある街。

〈B1 街区〉

- ・地域の人たちの機能＋文化、芸術。

【C グループ】

『今の景観：大切にしたいと思う景観は？』



〈真駒内駅～真駒内全体〉

- ・背景となる桜山がきれい。
- ・桜山から柏丘までの景観がきれい。
- ・地下鉄から見える藻岩山、五輪団地がきれい。
- ・駅前の時計のモニュメントがいい。
- ・街路樹がきれい。
- ・駅前通りの道がきれい。
- ・駅前とミュージアム前の並木がきれい。
- ・子どもたちの声が元気をもらえる。
- ・マンション前の並木 ポプラがきれい。

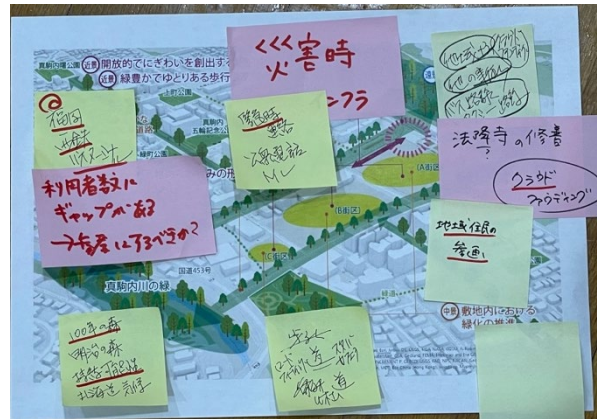
〈用水路、川付近〉

- ・水路の夏の音が真駒内の風景。
- ・ラルズ前の水路。
- ・区役所や郵便局がないと困る。

〈エドウィタン・ダン記念館〉

- ・公園が多い。エドウィンダン公園
- ・記念館があること。

『未来の景観：こんな景観になったらいいな！』



〈真駒内駅前周辺〉

- ・学生が楽しめる施設が欲しい。
- ・温浴施設が欲しい。
- ・大学を移動/誘致する。
- ・映画館、百貨（100円ショップ）、本屋、水族館、オフィス、メディカルビル、デートコース、イベント会場が欲しい。
- ・営業時間が遅くまでやっている飲食店やオープンカフェが欲しい。
- ・バス、タクシーターミナル、ロータリーの機能充実させてほしい。バス待ち解消。
- ・バス減便の中でそれに合わせたインフラではなく充実を前提としたインフラ整備を整えるべき。
- ・駐車場、駐輪場の整備をするべき。
- ・駅前のロードヒーティング化をしてほしい。
- ・歩道の幅をもっと広くする。
- ・レンタル自転車で町巡り。
- ・新しい施設の道路側に内部公園を作してほしい。
- ・駅前広場の広さが欲しい。
- ・駅前の道路や歩道は、インターロッキングにしてほしい。
- ・街灯を増やす。（駅前からラルズまで）
- ・バス停を明るく。
- ・各所に温かいベンチを作してほしい。
- ・ペDESTリアンデッキ。

〈川付近〉

- ・テニスコートを作してほしい。

- ・若い人が利用するバスケットゴールやスケートボードなどを行う場所の整備。

〈その他の意見〉

- ・災害時のインフラ整備（公衆電話、トイレ、避難できるスペース）
- ・参考で福岡の西鉄バスターミナルが出ているが、真駒内のバスターミナルとは利用者数のギャップが大きく参考とすべきか。
- ・明治の100年の森などを参考に持続可能な計画を立てるべき。
- ・クラウドファンディングなど地域の参画を促す取り組み。
- ・例えば、リターンとして自分の名前が彫られたタイルが使われるなど、地域の参画が愛着を生むと思う。
- ・南区の地域の入り口として、しっかり観光などの案内窓口を作る。

【D グループ】

『今の景観：大切にしたいと思う景観は？』



〈真駒内全体〉

- ・ 圧迫感のない景観がよい。
- ・ 建物と建物の間が広い。
- ・ 歩いていてすぐに休めるベンチがある。
- ・ 暑い日に入ることができる緑陰がある。
- ・ 人が集まることができる場所がある。
- ・ 治安がよい。
- ・ 夜静かな落ち着いた環境がよい。
- ・ 札幌オリンピックの歴史ある建物が多い。
- ・ 道が広くてよい。
- ・ 野生動物もいる豊かな自然環境がある。
- ・ 木や街路樹が多い。
- ・ しらかばやポプラ、イチョウ、ラベンダーなどの真駒内らしい植物がある。
- ・ 緑が手入れされている。
- ・ 車通りが少なく住民が優しい、また気品の高さがあるなど、子どもが安全に暮らすことができる。
- ・ 落ち着きがある。

〈真駒内駅・駅前通り〉

- ・ 駅と学校が近くてよい。
- ・ 駅から降りた時に解放感がある。
- ・ 駅から見た夕日がきれい。
- ・ 駅からの見通しがよい。

〈桜山・藻岩山〉

- ・藻岩・桜山を望める視界の開けた駅前空間がよい。
- ・桜山の緑がよい。
- ・駅前通りからの桜山のスカイラインがよい。
- ・藻岩山のスカイラインがよい。

〈車〉

- ・路駐が多くて車で通ると怖い。

〈エドウィン・ダン記念公園〉

- ・駅からエドウィン・ダン記念公園へのつながりがある。

『未来の景観：こんな景観になったらいいな！』



〈真駒内駅周辺~全体〉

- ・野生動物がモチーフの公園などがあるとよい。
- ・子どもが安全に暮らすことができるような地域な目の行届く地域であるとよい。
- ・藻岩山や桜山がどこからでも望むことができるとよく、その空間が広げればさらによい。
- ・バリアフリーが考えられた地域になるとよい。

〈南区を代表する地域としての機能〉

- ・芸術の森などの文化イベントや展示のお知らせができるようなスペースがあるとよい。
- ・南区の特産品やツアーを紹介することができる観光案内があるとよい。
- ・真駒内が先頭になって他の地区を盛り上げていく必要がある。

〈駅前広場・交流広場〉

- ・公共空間としての駅前広場が整備されるとよい。
- ・住んでいる人と訪れる人が交流することができるとうい。
- ・楽しいイベントができる空間であるとよい。
- ・お祭りができる空間であるとよい。
- ・交流広場は、交通広場の残りではなく、必要な広さを持った独自のものにしてほしい。
- ・たまり場にならないように品格のある広場になってほしい。
- ・多くの人が利用できる屋外マルシェができるとよい。

〈施設〉

- ・高齢者も楽しむことができる施設があるとよい。
- ・地下鉄を利用する若い世代にとって便利な施設があるとよい。
- ・真駒内らしい緑あふれるカフェがあるとよい。
- ・セミナーやイベント、芸術発表などができるホールがあるとよい。
- ・真駒内の公民館的な施設があるとよい。
- ・住民も参加することができるシェアキッチンがあるとよい。
- ・シェアオフィスやコワーキングスペースなどの仕事場があるとよい。
- ・ランニングの聖地という特徴を活かしたランナーステーションがあるとよい。
- ・イベントやパブリックビューイングなどを行うことができる屋内公共広場があるとよい。
- ・芝生などを整備して上下から涼しくなるような工夫があるとよい。
- ・音楽や芸術、スポーツなどの学びを深めることができる文教地区としての施設があるとよい。
- ・広い図書館があるとよい。
- ・コンクリートではなく、木造の建物だとよい。
- ・遅い時間でも買い物できるとよい。
- ・遅い時間までやっており、くつろぐことができるカフェがあるとよい。

〈再開発地域と周辺地域の連動〉

- ・再開発地域とその周辺や正面の土地が連動していくとよい。

〈街路〉

- ・歩きやすい歩道であるとよい。
- ・今の緑や広さのある歩道を活かすことができるとよい。
- ・木があまり伐採されないほうがよい。

〈デザイン〉

- ・陳腐化しないデザインや素材を利用できるとよい。
- ・統一的なデザインになるとよい。
- ・民間施設と公共施設のデザインが調和しており、一体感のあるデザインコンセプトがあるとよい。
- ・札幌軟石で統一したデザインも考えられるのではないかな。

〈夜〉

- ・夜暗すぎない街路や環境になるとよい。
- ・夜は賑わいすぎずに、静かな環境であるとよい。
- ・騒がしくはないけれども、人気のある空間であるとよい。

〈歩道〉

- ・出入口が施設に多くあり、冬でも安全に移動できるとよい。
- ・ロードヒーティングで冬でも外を安全に移動できるとよい。駒丘の熱を利用できるとよい。
- ・積雪があっても歩ける空間であるとよい。

〈駅前の交通利便性〉

- ・冬の時期などに、特に駅前が車で混んでしまうと考えられるため、迂回できるような場所がほしい。
- ・再開発を行うことで、人や車の流れがどのように変化するのかが気になる。
- ・駐輪場と駐車場を十分につくってほしい。
- ・送迎のための車寄せのスペースなどがしっかりあるとよい。
- ・屋内でバスを待つことができる機能があるとよい。

〈ターゲット層〉

- ・真駒内から滝野に行く外国人などもターゲットにできるのではないかな。

〈災害対策〉

- ・災害時の避難施設となるとよい。
- ・屋内公共イベントスペースなどがあれば、防災にも活かすことができるのではないかな。

【E グループ】

『今の景観：大切にしたいと思う景観は？』



〈自然・緑地環境〉

- ・樹林帯の保全：50年以上の歴史ある樹林帯を大切にしたい。
- ・イチョウ並木：駅前のイチョウ並木とその紅葉の美しさ。
- ・森と山の魅力：真駒内の自然環境そのものの価値。
- ・緑のデザイン性：建物との調和を考慮した緑の活用。
- ・多様な植物：ラベンダーなど、季節を感じられる植栽。

〈都市基盤・街並み〉

- ・道路幅の広さ：見通しの良い直線道路。
- ・行政施設の集約：利便性の高い施設配置。
- ・真駒内駅～柏ヶ丘間：緑が見渡せる良好な景観軸。
- ・当時最新のコンクリート建造物：時代を反映した建築への認識。

〈コミュニティ・人の活動〉

- ・子どもの遊び場：土や水で思い切り遊べる場所の重要性。
- ・人の集まる場所：コミュニティの核となる空間の必要性。
- ・エドウィン・ダン公園：既存施設のより良い活用への期待。

〈課題・改善点の認識〉

- ・駅前環境の安全性：「ちょっと怖い」という率直な意見。
- ・商業施設の不足：目立った商業施設が少ない現状。
- ・静かさとにぎわいのバランス：地域特性をどう活かすか。
- ・人口減少への対応：他地域より早い変化への対策。

『未来の景観：こんな景観になったらいいな！』



〈景観・街並みデザイン〉

- ・ 景観の一貫性：統一感のある美しい街並みの実現。
- ・ A街区の建物高さ制限：低層建築による圧迫感のない環境。
- ・ 今の駅前風景の保存：現在の良さを活かした開発。
- ・ 自然と都市の調和：緑と建物が美しく共存する環境。

〈人と人の交流・コミュニティ空間〉

- ・ 交流広場の充実：人々が自然に集まる拠点の創出。
- ・ 人と人の交流点：多様な出会いと繋がりが生まれる場所。
- ・ ちょっと休める空間：気軽に立ち寄れるくつろぎスペース。
- ・ にぎやかさの再評価：適度な活気ある環境への転換。

〈緑地・自然環境の保全・活用〉

- ・ みどりをのこして：現在ある緑の積極的保全。
- ・ 街路樹・樹木の保存：既存の植生を活かした街づくり。
- ・ プレーパーク構想：自然を活かした子どもの遊び場。
- ・ 森・緑をめぐる道：エドウィン・ロードを活用した緑の散策路。

〈交通・アクセスの利便性向上〉

- ・ 地下鉄・バスを使いたくなる環境：公共交通の魅力向上。
- ・ A⇔B街区の人通過への工夫：地区間の回遊性向上。
- ・ UR を巻き込んだ再開発の検討：計画的な都市機能向上。

〈街区・地区の機能向上〉

- ・ C街区・B街区の統合：効率的な土地利用。

- ・ プレーパーク・コミュニティ機能：各地区の役割分担。
- ・ A 街区の商業施設充実：生活利便性の向上。
- ・ 樹林等の保全との両立：開発と保全のバランス。

〈生活の質〉

- ・ スタイル化された生活環境：洗練された住環境。
- ・ 駅周辺の魅力向上：駅前エリアの活性化。
- ・ 多機能複合施設：様々なニーズに対応する拠点。
- ・ 季節を感じる空間創出：四季の変化を楽しめる環境。

【Fグループ】

『今の景観：大切にしたいと思う景観は？』



〈真駒内駅前通りが中心〉

- ・真駒内駅前通りの街路樹が魅力的である。
- ・五輪団地方面や緑町方面の街路樹も緑豊かである。
- ・真駒内駅前通りの真駒内幸町ビルの前の歩道には街路樹がない。植樹して街路樹の連続性を確保する。
- ・イチョウ、モミジが色づくコントラストが美しい。紅葉の時期もきれいである。
- ・真駒内駅前通りは街路樹だけでなく、ハンギングバスケットなど花でも連続性を形成できると良い。
- ・横浜のF・マリノス通りのようなハンギングバスケットによる彩りが理想である。
- ・エドウィン・ダン記念公園から真駒内緑町緑道につながる水路と桜並木が良い。

〈駅前広場〉

- ・真駒内駅の目の前に交流広場があると駅利用者に対して花で出迎えるなど、おもてなしの空間を形成できる。

〈南区の拠点のまち〉

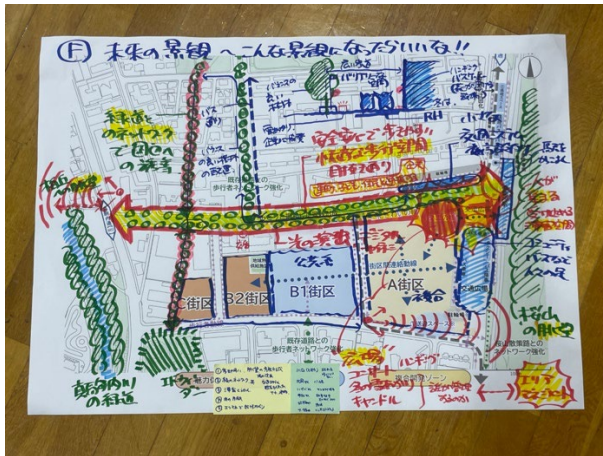
- ・南区には農産物や食などの資源もある。
- ・真駒内は南区の拠点のまちである。
- ・南区各地の農産物や飲食物などを、真駒内に集めて広場などで販売しては

どうか。集客につながるのではないか。

〈時計塔〉

・駅前にある時計塔は残したい。

『未来の景観：こんな景観になったらいいな！』



〈歩行空間・歩道〉

- ・真駒内駅前通りは目抜き通りである。歩道は幅員を広くして歩きやすくする。
- ・バリアフリーな歩道であることも大事である。
- ・冬季でも安全で快適に歩行ができるように、ロードヒーティングを整備するなどの対応ができると良い。
- ・五輪団地や緑町方面と接続する道路の夜間が暗い。街路樹を適切に間引くなどして、明るく安全な歩行空間を形成する。
- ・真駒内駅前通りの既存の街路樹の緑とともに、花で彩ると良い。ハンギングバスケットなどを設置できるようにする。
- ・真駒内駅前通りでは光の演出を行う。冬は雪あかりやキャンドルで彩る。
- ・真駒内緑道（桜並木）、緑町方面のイチョウ並木などと真駒内駅前通りをネットワークさせることで、歩きたくなる歩行空間を形成する。
- ・既存街路樹同士をネットワークさせることで、五輪団地方面やエドウィン・ダン記念公園方面に歩行者を誘導させる。
- ・デジタルサイネージでの情報発信や案内誘導ができると良い。

〈東西の良好な眺望の確保〉

- ・真駒内駅前通りやA1街区の付近から、桜山の眺望を確保する。
- ・B1街区に展望台を設けるのが良いのではないかな。
- ・真駒内川方面の柏丘の緑地に対する眺望もとても良いため、確保した方が良い。

〈人が集まる滞留空間・広場の形成〉

- ・真駒内駅前に滞留空間・広場を整備する。
- ・広場は人の流れを受け止めることができる。
- ・滞留空間・広場では、音楽コンサート、南区の産品を販売するマルシェ、ハンギングバスケットの展示、冬の雪あかり、キャンドルイベントなどの実施が考えられる。
- ・雪あかりなどは企業に協賛してもらいたい。

〈小さな交通システムの導入〉

- ・高齢者にとって駅周辺を歩くだけでも大変という人もいる。歩きたくなる歩行空間形成とは別に、コミュニティバスやデマンドバスの導入も検討すべき。

〈札幌軟石の活用〉

- ・札幌軟石をA街区やB1街区など新たに整備される施設の外壁などに活用して、札幌らしさを表出させる。
- ・札幌軟石を活用したアートを制作して展示する。

〈エリアマネジメントによる持続的な景観形成〉

- ・滞留空間・広場の活用、街路樹やハンギングバスケットの維持管理が大切である。
- ・町内会、子ども、地元企業と連携したエリアマネジメントの取組で持続的に実施していく。

〈その他〉

- ・真駒内は南区の拠点であるため、駅舎のデザインも洗練したものになるべき。

【G グループ】

『今の景観：大切にしたいと思う景観は？』



〈地下鉄駅周辺・交通広場〉

- ・地下鉄(地上を走る)が駅に差し掛かる時、見える整然としている街並(全体が見渡せる)
- ・良い意味で駅前なのに静か、のんびり。
- ・駅前・街路ネットワークとしての緑・連続性・包まれ感。
- ・にぎわいに景観が必要と考える人が誰かをフォーカスして検討すべき。
- ・バス結節点、周辺景観はバス利用者の意見も必要。
- ・駅前の広々とした風景。
- ・道の幅が広い。
- ・駅裏の桜山と駅前に広がる街並のコントラスト。
- ・緑が多い。
- ・桜山の緑。

〈A 街区〉

- ・低層の街並み群（団地は高層だが街路から距離がある）
- ・低めの建物。
- ・道路沿い中層、中に入ったら低層→建物間のゆとり。

〈B1 街区〉

- ・駅前通りの緑の多さ。
- ・ゆったりとした道幅の車道(一部車道も)のんびり走る車。

〈B2 街区〉

- ・生活に必要な機能は足りている→無くなる、減ると心配。

〈C 街区〉

- ・用水路のある風景。
- ・遠目で見える藻岩山群。

〈周辺住宅地〉

- ・UR・五輪団地・クリスタル等と連携した駅前景観づくりが必要。
- ・四季で感じる。
- ・色彩は今の落ち着いた色使いがいい。
- ・駅前から続くイチョウ並木等、四季の自然の美しさを感じます。50 年かけてできた姿、貴重である。
- ・地区計画範囲だけでなく隣接地との連続性の確保。

『未来の景観：こんな景観になったらいいな！』



〈地下鉄駅周辺・交通広場〉

- ・冬でも楽に歩ける景観になったら良い。
- ・バス乗場：建物内からの見やすさ。
- ・植栽マスの彩り(草花)の推進。
- ・桜山から真駒内を一望できる場所。
- ・樹冠が広がる木立ちの広場。

〈A 街区〉

- ・駅前商店街や飲み屋街で明るいと良い。
- ・駅前広場の道の広い歩道。
- ・(建物は) 緑に合った木系の造りになると良い。
- ・平日も休日もどの時間帯もそこそこのにぎわい→安心と安全。
- ・平日、休日時間帯によって街を利用する人たちが違うので、それぞれがくつろげるところとして 子供や学生…昼 街に帰ってくる大人…夜
- ・買物目的の商業施設というよりくつろぐために訪れるところ…休日

〈B1 街区〉

- ・にぎわいの軸にふさわしい賑わいが欲しい。
- ・駅前通：歩道両側の樹木景観。
- ・交流の核：通年、誰もがこころよく使える開放的な屋内景観。

〈B2 街区〉

- ・中通り：少し貧弱なので街路樹の充実、育成。

〈C 街区〉

- ・ B2, C 街区にパブリックな公共施設を持って行き、21:00 までオープンすると良い。
- ・ 派手な看板のない。
- ・ 建物と建物の間を詰めすぎない(ゆったりしたまま)。

〈周辺住宅地〉

- ・ 真駒内の町全体との調和がとれた施設→緑・ ゆったりとした時間。
- ・ 四季で楽しめる屋内施設。
- ・ 色彩：落ち着きある色使いの維持。
- ・ 駅前通：駅～R453 迄の景観の連続。
- ・ ネットワーク：駅前通りを軸とする緑・ 歩行景観を連続させていく。

【H グループ】

『今の景観：大切にしたいと思う景観は？』



〈真駒内駅周辺・交通広場〉

- ・ 冬季五輪が開催されたというレガシーを目に見える形で残したい（時計台など）。
- ・ バスターミナルは交通の利便性という点でも必要である。
- ・ 駅前には多少の雑多さがあっても良い。
- ・ 駅前の整備も大事だが、駅裏の「桜山」も大事。かつて桜が咲いていたという経緯も踏まえて、今は雑木林だが、桜の咲くほんとうの桜山にしたい。
- ・ 駅に向かうと桜山がみえる景色は残したい。
- ・ 駅から見える時計塔のあたりの広場の雰囲気や、オリンピックのイメージは大事にしたい。
- ・ 駅前通りの街路樹や花壇など、都市に馴染む自然を残したい。
- ・ 通りにある街路樹と色とりどりの花壇など整備された自然が良い。
- ・ イチョウ並木や、カエデ通り、ななかまど通りなどエリア内に今ある多種多様な木々を大事にしたい。
- ・ 駅前通りの木々の変化で、四季のうつろいを感じることができるのが良い。

〈周辺住宅地〉

- ・ 真駒内川沿いに咲く桜の樹は春になると楽しみにしている住民もいるので残したい。

『未来の景観：こんな景観になったらいいな！』



〈真駒内駅周辺・交通広場〉

- ・バリアフリーで、誰もが季節を感じることができる。
- ・桜山に桜を植えるような植樹の取組でまちの景観を「じぶんごと」にする取り組みなどがあると良い。
- ・キッチンカーなどが集まることができ、屋台村のようにぎわい広場の活用がされている。
- ・学生がや社会人が利用できるコワーキングスペースのような勉強や仕事ができるフリースペースがある。
- ・若者が気軽に集える場所があると良い。
- ・地域で採れた農産物の直売所があり、新鮮な野菜などを買うことができる。
- ・ファミレスのような気軽に集える場所がある。
- ・澄川のようなイメージのにぎわいがある。
- ・人々がくつろげる、自由に過ごせるオープンスペースがあると良い。
- ・自然と調和しているが故のフリースペースや交流広場を大事にする。
- ・都市部に直接アクセスできるバスは残してほしい。
- ・バスの路駐がなくなるように A 街区の建物の地下などにバスの滞留スペースなどができるとう良い。
- ・駅前広場では盆踊りなど、にぎわいを感じられる空間になっているとう良い。

〈駅前通り〉

- ・大型商業施設とは別に、駅前通りに飲食店など、人が滞留できる店舗を並べてにぎわいを感じられる街並になると良い。
- ・0 時までやっている店があり、夜帰ってきてても明かりがついていたり、人々を感じることができる。

・冬に駅前だけではなく、通り沿いもイルミネーションが灯せるイベントがあると良い。

〈B1 街区〉

・駅前広場から少し離れた通り沿いに水場や休憩できるベンチなどのある広場(公園)があると良い。

〈C 街区〉

・用水路近くの場所を活用した親水広場などが整備されており「自然とふれあえるまち」としての真駒内らしさがある。
・安全性が確保された水あそびのできる水路広場があると良い。

〈周辺住宅地〉

・アートのまち南区らしい街並みを作りたい。
・団地の壁にグラフィティアートを施して、写真に撮りたくなるようなアートな街並みがあると良い。
・休日にゆっくりとお茶を飲むことができるような場所（カフェなど）がほしい
・エドウィン・ダンが十分に生かされていないが、重要な資源として有効活用できないか。

〈まちづくりを支える体制〉

・景観の整備に合わせて真駒内の街並みや自然を守るサポーター機能も重要である。
・街路樹などを植樹する際に寄付金をつのり、“わたしの木”として育てられるような仕組みがあったら、街並みが自分事になるのではないか。

〈建築物のデザイン〉

・建物には北海道の木材を使用し、自然と調和のとれたものにする。
・北海道産のレンガ(江別のレンガ)などを使用して、景観をつくる。その際、一定の寄付金額をおさめたばあいレンガに名入れをすることができるような工夫をするのも良いのではないか。